

税法学原論研究会

第16回のお知らせ

東京青年税理士連盟
会 長 高橋千亜紀
研究部長 高橋紀充

皆様、こんにちは。税法学原論研究会第16回を下記要領で実施します。

今回のテーマは、「税務制裁制度」です。納税者の税法違反に対しては、加算税等の行政上の制裁が課され、さらに刑事制裁が科される場合もあります。どのような場合に、加算税、とりわけ重加算税が課されるのか、また行政上の制裁と刑事制裁はどう違うのか、そしてどのような関係にあるか、といった点について検討していきます。

国税通則法が改正され、加算税賦課処分についても理由附記が行われることとなりました。ここであらためて、加算税を含む税務制裁制度の全容について、考えていきたいと思えます。

勉強会後には懇親会を行います。会員同士の情報交換の場でもありますので是非ご参加ください。お待ちしております！

記

日 時 : 令和元年6月13日(木) 18:40~21:00
場 所 : 東京税理士会館(下記地図参照)
チューター : 山口 玉美会員
オブザーバー : 小池 幸造会員(税理士・元静岡大学教授・元全国青税会長)
対 象 : 会員・準会員
内 容 : 税法学原論第7版
第27章 税務制裁制度
参 加 費 : 500円(資料代)

(今後の開催予定: 後半)

	開催予定日	章 テーマ
17	6月13日(木)	27 税務制裁制度
18	7月13日(土)	25 税理士制度【会場/甲府市内】
1	9月 日()	1 税法学の特質と課題4 納税者基本権 23 「適正手続き」と租税手続き
2	10月 日()	2 租税の法概念 3 税法の体系

(開催場所)



※開催日は毎月10日前後を目安に調整し、個別にご案内します。

なお、当日、テキストの『税法学原論』第7版を定価4,320円(税込)のところ、3,500円(税込)で販売致しますので、お持ちでない方はこの機会にぜひ購入をご検討ください。